

令和6年度

第2回山梨県文学館協議会資料

令和7年2月27日（木）

山梨県立文学館

文学館活動目標

山梨県総合計画（第二次）では「文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現」することを目指すべき将来像に掲げています。そのため、次のとおり活動目標を掲げます。

【展示／見る】

魅力あるテーマによる「企画展」「特設展」の開催と、収蔵品を生かして山梨県出身・ゆかりの文学者を紹介する「常設展」の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】

社会教育・学校教育と連携をはかり、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

【資料情報／収集・保存・公開】

山梨県出身・ゆかりの作家、作品に関わる資料を中心に収集・保存していくと同時に、広く公開して活用を図る。

【付加価値・魅力／たのしむ】

文学館及び芸術の森公園に、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行い、文化観光の拠点をめざす。

令和6年度の事業報告

【展示/見る】

春・夏の特設展、秋の企画展を「開館35周年記念」事業として開催

【特設展】「生誕140年 歿後50年 中村星湖展」会期：4月27日～6月23日



- ・ 1994年開催した企画展から30年ぶりの中村星湖展
- ・ 富士河口湖町からの協力で、風景写真の提供や町の広報誌への紹介記事掲載をいただいた。

【展示/見る】

【特設展】「文学はおいしい」会期：7月13日～8月25日



- ・チラシデザインをイラストで制作
- ・県内各市町村に呼びかけ、食をテーマにしたパンフレット・リーフレットの提供を呼びかけ、展示室内に設置
- ・スタンプラリーを実施（展示室→ミュージアムショップ→閲覧室）

【展示/見る】

【企画展】

「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」会期：9月14日～11月24日



- ・金子兜太の生涯と作品、飯田龍太との交友を紹介
現在活躍する俳人、歌人、詩人、評論家30人による兜太の一句鑑賞を展示
- ・兜太の書斎を復元

【展示/見る】

【新収蔵品展】

「直筆を楽しむ」会期：令和7年2月1日～3月23日



令和5年度末～令和6年度に新たに収蔵した資料から、約100点を展示

樋口一葉草稿、芥川龍之介書簡、
富士北麓地域の俳人資料など



【展示/見る】

【常設展】

3月、6月、8月、12月の4回、一部の資料入れ替え実施。

第1室「期間限定コーナー」

春 深沢七郎 生誕110年

夏 虚子と富士北麓の俳人たち 高浜虚子生誕150年

秋 田中冬二 生誕130年

冬 山崎方代 生誕110年 〈開催中〉



日本銀行から旧五千円札（樋口一葉肖像）
最終製造券(LD899997J)の寄贈を受け、
7月5日より、平成16年寄贈の若い記番号
(A000006A)と並べ常設第1室に展示



「山崎方代 生誕110年」
展示した方代の短歌12首から
観覧者による人気投票コーナー
を設置

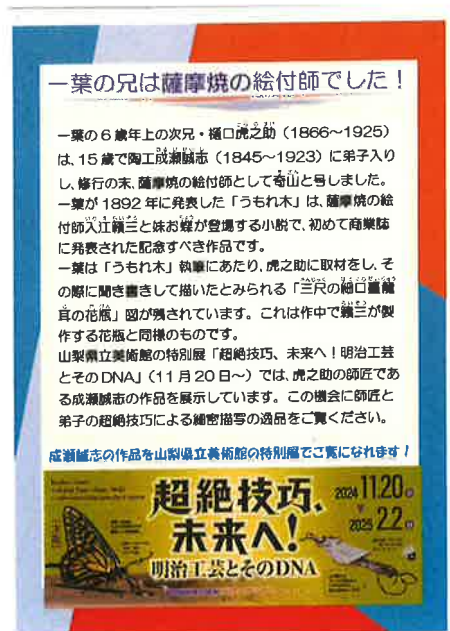
【展示/見る】

【常設展】

美術館特別展「超絶技巧、未来へ！」と常設展樋口一葉コーナーとコラボ

特別展（令和6年11月20日～令和7年2月2日）会期中、一葉の兄虎之助による薩摩焼花瓶ほか関連資料を展示

美術館の関連資料コーナーにも、文学館でコラボ展示中のお知らせを設置



【教育普及/学ぶ】

【年間文学講座】

講座 1（古典文学）藤原道長と紫式部のライバルたち 年8回

講座 2（近代文学）健全と不健全のあいだ 日本近代の犯罪小説を読む 年8回

講座 3 作家と作品 学芸員による 年4回



【特設展、企画展関連事業】

- ・「中村星湖展」 中丸宣明氏（法政大学教授）の講演会
- ・「文学はおいしい」 消しゴムはんこ作りワークショップ
- ・「金子兜太展」 井上康明氏（俳人）、佐佐木幸綱氏（歌人）の講演会、担当学芸員の講座を開催、俳人による座談会、はんこ作りワークショップを実施



展示資料にちなんで、
ヤマメの消しゴムはんこを作成



金子兜太と交友があった佐佐木幸綱氏の
講演会を三枝館長が聞き手となって
開催

【教育普及/学ぶ】

【創作教室】

- ・短歌教室／小説創作教室
短歌と小説創作教室では、高等学校文化連盟と共催、高校生参加枠を設け、一般社会人と一緒に受講する機会とした。

【ZINE作り教室とZINEフェスティバル】

- ・創作と交流の場として令和3年度から実施
ワークショップ ……ZINEを制作

フェスティバル ……展示と配布の場

個人や団体のほかに、県内の学校へ参加を呼びかけた。

去年の県立大、都留文科大、笛吹高校、駿台甲府高校生に加え、令和6年度は、甲府一高、甲府西高、韮崎高校、白根高校、北杜高校、富士河口湖高校の文芸部等が出品、参加へ広がった。



【教育普及/学ぶ】

【ワークショップ】

- ・ 俳句教室（1月、2月）
初心者対象の俳句教室 連続2回 講義と実作を指導
- ・ 朗読教室（2月）
発声や朗読のコツについての講義と実技指導
宮沢賢治「雪渡り」をテキストに実施



朗読教室 実技指導の様子

【教育普及/学ぶ】

【文学解説】 展示の解説

前年度中に、県内の学校あてに、年間の事業や提供できるプログラムの情報、事業の利用の仕方などをお知らせする。



クイズを解きながら、山梨の文学者について学ぶ



2月、3月には新田小学校、城西高校が来館予定

【教育普及/学ぶ】

【出前授業】

三枝館長の短歌教室の出前講座、職員による出前講座を随時実施

【アウトリーチ】

令和6年度新たに「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」のセットを追加

このほか、名作映画鑑賞会、朗読公演会、教師のための学習会、ジュニアインターンシップ等を実施

3月は、第33回やまなし文学賞の表彰式を予定



【資料情報/収集・保存・公開】

閲覧室における事業

収蔵資料の閲覧、情報の提供、レファレンスサービス、複写サービスを実施

資料の情報は、文献検索システムにより管理し、文学館HPの「蔵書検索」ページで公開

このほか、収蔵する図書・雑誌を手にとって閲覧出来る展示コーナーを随時設営

閲覧室の事業を紹介する、閲覧室トークを実施

【資料情報/収集・保存・公開】



閲覧室資料紹介
クリスマスのお話



閲覧室トーク

【資料情報/収集・保存・公開】

デジタルアーカイブ開設 令和6年10月1日

文学館の収蔵コレクションの内、樋口一葉、芥川龍之介、太宰治の直筆資料（原稿・草稿・書簡など）を、鮮明な画像で当館ホームページ上で公開。

公開資料 740点 閲覧数 12月16日現在で11,897回

作家名、資料種別、資料名で検索、閲覧が可能。

〔デジタルアーカイブURL〕 <https://digital-archive.pref.yamanashi.jp/>



デジタルアーカイブを公開しました

山梨県立文学館で収蔵している
樋口一葉、芥川龍之介、太宰治
の直筆資料を公開しています。



出典: 近代日本人の肖像

令和7年度事業予定

【展示/見る】

【特設展】 「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」

会期：4月26日～6月22日

【特設展】 「作家の絵どころ」

会期：7月12日～8月24日

【企画展】 「ベストセラー誕生！ 『南総里見八犬伝』の世界」

会期：9月13日～11月24日

【新収蔵品展】 会期：令和8年1月31日～3月22日

【常設展】

- ・年4回（3月、6月、8月、12月）一部入替え
- ・第1室に期間限定のコーナーを設置

春 飯田蛇笏 生誕140年

夏 戦後80年 文学者と疎開 井伏鱒二と太宰治

秋 戦後80年 文学者と疎開 金子光晴

冬 自由律の俳人 秋山秋紅蓼

令和6年度 企画展・特設展

展覧会名	備 考	会 期	日 数	観覧者数	内 容
開館35周年記念 特設展 生誕140年 歿後50年 中村星湖展	自主企画 常設展の 一環として 開催	令和6年 4月27日（土） ↓ 6月23日（日）	51日間	2,758名	明治40年代、自然主義文学の隆盛期に小説「少年行」で文壇に登場した中村星湖（富士河口湖町生まれ）の生涯と作品を取り上げた。小説のほか、フローベル、モーパッサンの翻訳、民衆芸術、農民文学運動に関わる評論活動など、多彩な業績を紹介した。
開館35周年記念 特設展 文学はおいしい	自主企画 常設展の 一環として 開催	令和6年 7月13日（土） ↓ 8月25日（日）	39日間	3,865名	文学作品に登場する食の場面、作家と食べ物のエピソードを葡萄のめぐみ／甲州のうまいもの／お酒のシーン／料理する作家たちなどの切り口で、芥川龍之介や深沢七郎、林真理子の資料を中心に紹介。県内各市町村の食に関わるパンフレットのコーナーを設けた。
開館35周年記念 企画展 金子兜太展 しかし日暮れを 急がない	自主企画	令和6年 9月14日（土） ↓ 11月24日（日）	62日間	3,810名	金子兜太（1919～2018 埼玉県生まれ）は、従軍体験を経て、前衛俳句、社会性俳句の中心的存在として活躍した戦後を代表する俳人。自作を揮毫した力強い書の掛け軸や色紙、日記などのほか、書斎の一部を再現し生涯と作品の魅力を紹介した。
新収蔵品展 直筆を楽しむ	自主企画・ 観覧料無料	令和7年 2月1日（土） ↓ 3月23日（日）	43日間	開催中	令和6年に新たに収蔵した資料を公開する。

令和7年度 企画展・特設展(予定)

展覧会名	備 考	会 期	日 数	内 容
特設展 時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年	自主企画 常設展の 一環として 開催	令和7年 4月26日（土） ↓ 6月22日（日）	51日間	古今東西の題材で、美と理想を小説に表現することを追求した作家・辻邦生（1925～1999）。古代ローマを舞台にした「背教者ユリアヌス」、ルネサンス期フィレンツェのボッティチェリを描いた「春の戴冠」、山梨県笛吹市春日居町国府の父祖の地を探求した「銀杏散りやまず」、ゆかりの人物の多彩な声で語られる「西行花伝」など、辻邦生の作品と共に、その生涯を辿る。
特設展 作家の絵ごころ	自主企画 常設展の 一環として 開催	令和7年 7月12日（土） ↓ 8月24日（日）	39日間	芥川龍之介は少年時代から回覧雑誌のカットなどを手がけ、小説家となってからも小穴隆一ら画家たちと親しく交流した。図画の教員だった父を持つ檀一雄は、自身も様々なモチーフを題材に絵を描いている。様々な作家を取り上げ、文学と美術の親密な関係を紹介する。
企画展 ベストセラー 誕生！ 「南総里見八犬伝」 の世界	自主企画	令和7年 9月13日（土） ↓ 11月24日 （月・振休）	63日間	「南総里見八犬伝」は、江戸時代後期、曲亭馬琴が28年をかけて完成させた全98巻106冊に及ぶ一大長編小説。室町時代を舞台に、8人の「八犬士」が活躍する物語は、刊行当時から人気を集め、歌舞伎や錦絵の題材になり、近現代には小説や舞台、映画、コミック、ゲームに取り上げられている。時代とジャンルを超えて愛されるベストセラー「八犬伝」の魅力を取り上げる。
新収蔵品展	自主企画・ 観覧料無料	令和8年 1月31日（土） ↓ 3月22日（日）	43日間	令和7年に新たに収蔵した資料を公開する。

令和6年度 教育普及事業の実施状況と今後の予定（1月末現在）

分類	事業名	内容	開催日	会場	参加人数	合計
年間 文学講座	講座 1 藤原道長と紫式部のライバルたち ―大河ドラマの世界を同時代の史料と文学作品から読む― 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①藤原道長の父兼家とその子供たち	6月8日(土)	研修室	94人	590人
		②藤原道長の兄道隆とその息子たち	7月6日(土)		90人	
		③藤原道隆と娘の定子	8月10日(土)		76人	
		④藤原道隆の息子伊周と貴族社会のあつれき	9月14日(土)		70人	
		⑤藤原道隆の死と中関白家の没落	10月12日(土)		70人	
		⑥藤原道隆死後の藤原定子と一条天皇	11月2日(土)		65人	
		⑦藤原定子と藤原道長の娘彰子	12月7日(土)		72人	
		⑧清少納言と紫式部	1月25日(土)		53人	
	講座 2 健全と不健全のあいだ―日本近代の犯罪小説を読む― 講師：古川 裕佳 (都留文科大学教授)	①志賀直哉「范の犯罪」	5月21日(火)	研修室	21人	169人
		②志賀直哉「濁った頭」	6月18日(火)		18人	
		③菊池寛「ある抗議書」	7月23日(火)		21人	
		④芥川龍之介「二つの手紙」	8月20日(火)		23人	
		⑤芥川龍之介「或旧友へ送る手記」	9月3日(火)		25人	
		⑥谷崎潤一郎「途上」	10月8日(火)		16人	
		⑦谷崎潤一郎「白昼鬼語」	11月12日(火)		24人	
		⑧木々高太郎「文学少女」	12月17日(火)		21人	
	講座 3 講師：当館学芸員	①資料からみえる中村星湖のひとと作品 講師：保坂雅子	6月2日(日)	研修室	24人	114人
		②作家が描いた甲州の“食”あれこれ 講師：高室有子	8月12日(月)		48人	
		③金子兜太展のみどころ 講師：中野和子	10月6日(日)		28人	
		④生誕120年 四尾連湖畔の詩人 野沢一 講師：伊藤夏穂	11月10日(日)		14人	
特設展・企画展 関連事業	「生誕140年 歿後50年 中村星湖展」関連事業	講演会 「中村星湖 自然主義文学の再評価の中で」 講師：中丸宣明(法政大学教授)	5月18日(土)	研修室	42人	527人
		教師のための学習会	5月23日(木)	特設展	8人	
	「文学はおいしい」関連事業	ワークショップ 「消しごむはんこづくり」 講師：アオヤギ ルミ	7月28日(日)	研修室	36人	
	「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」関連事業	講演会 「兜太と龍太―その交友の歳月―」 講師：井上康明 (俳人・「郭公」主宰)	9月16日(月・祝)	講堂	151人	
		講演会「金子兜太さんのこと」 講師：佐佐木幸綱 (歌人・国文学者・「心の花」主宰) 聞き手：三枝昂之館長	9月29日(日)		144人	
		座談会「兜太作品の原点を語る―第一句集『少年』・第二句集『金子兜太句集』を中心に―」 講師：高野ムツオ、高山れおな、佐藤文香	10月26日(土)		120人	

分類	事業名	内容	開催日	会場	参加人数	合計
特設展・企画 展関連事業	「金子兜太展 しかし日暮れを急がない」 関連事業	教師のための学習会	9月19日(木)	企画展	7人	前頁合計に含む
		ワークショップ 「はんこ彫り(篆刻)をしよう！」 講師：望月煌雅	10月27日(日)	研修室	19人	
名作映画 鑑賞会	一般向け	「まく子」	5月6日(月・振休)	講堂	130人	510人
		「天地悠々 兜太・俳句の一本道」	11月9日(土)		168人	
		「伊豆の踊子」	2月1日(土)		—	
	子ども向け	「あん」	8月4日(月)		212人	
文学創作教室	小さな本(ZINE) 作り教室	講師：吉田朝麻	7月20日(土)	研修室	33人	140人
	初心者短歌教室	講師：三枝浩樹(歌人)	6月22日(土)		14人	
	小説創作教室	① 講師：川上健一(作家)	6月29日(土)		18人	
		② 講師：川上健一(作家)	9月28日(土)		19人	
	短歌講座	① 講師：三枝昂之(館長)	9月7日(土)		29人	
		② 講師：三枝浩樹(歌人)	12月14日(土)		27人	
ワークショップ	朗読教室	原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師：原きよ	2月2日(日)	研修室	—	30人
	俳句教室	① 講師：長田群青(俳人)	1月26日(土)		30人	
		② 講師：長田群青(俳人)	2月16日(土)		—	
出前講座	山梨の文学解説講座	峡南国語部会、ことぶき勸学院	2回		26人	1,011人
	小中高文学教室	県内小中高高等学校	13回		985人	
文学解説	展示解説 (一般向け)	元気夢クラブ	1回	常設展 特設展 企画展	30人	957人
	展示解説 (小中高大学生向け)	学生への展示解説	24回		927人	
チャレンジクイズ	特設展	「中村星湖展」	4月27日-6月23日	特設展	450人	2,832人
		「文学はおいしい」	7月13日-8月25日	特設展	1,089人	
	企画展	「金子兜太展」	9月14日-11月24日	企画展	309人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ?)	小中高一般	通年	常設展	869人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の森公園	115人	
実習受入	ジュニアインターンシップ	中高生(5人×2日、3人×1日)	7月24日-26日		13人	19人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習 (1人×6日)	7月17日-21日・3日		6人	
その他	アウトリーチ (移動文学館)	小中高 37校	通年		11,185人	12,803人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月21日(日)	研修室	265人	
	博学連携広報活動	校長会・国語部会での普及事業説明など	通年		1,004人	
	やまなし文学賞関係	運営委員会	5月8日、1月7日	研修室	30人	
	教育センター共催研修	閲覧室・展示室見学	7月24日(水)	研修室	13人	
	朗読公演会	かわせみ座「Marionette Poems」	8月18日(日)	講堂	306人	

令和7年度実施予定教育普及事業の予定(概要)

事業名	事業説明
年間文学講座1～3	講座1・2は各8回。講座3は年4回実施する。 講座1 古典文学 講座2 近代文学 講座3 当館学芸員担当 テーマは参加者へのアンケートを参考に設定する。
特設展・企画展関連講演会	特設展や企画展をより深く理解していただくために、テーマにあわせて講師を依頼、講演会を行う。
名作映画鑑賞会	文学作品を原作とした作品を中心に選定。文学に興味をもってもらう足がかりとする。一般向けと子供向け映画と併せて3～4本を予定。 上映作品の選定は、アンケートを参考に選定する。
文学創作教室	実作者を講師に迎えて実施。創作に興味関心がある人がヒントをつかむきっかけとする。短歌、小説、ZINE(小さな本)作りなどを実施予定。 令和7年度は若年層を対象とした教室を予定。
ワークショップ	モノ作りなど参加型・体験型の教室を通して、文学への興味を高める機会とする。子どもを対象としたワークショップは、開催中の特設展・企画展の内容につなげていく。
朗読公演会	演劇や音楽、朗読の要素を取り入れ、特設展や企画展に関連した内容で実施する。
出前講座	学芸課の職員が学校や公民館など公共施設などに出向き、学習ニーズに応じた講座を行う。児童向けの百人一首教室や、一般を対象とした山梨ゆかりの文学者についての講義など、対象・テーマとも様々な要望に応じる。
文学解説	教育課程(校外学習)で来館した学校や、一般の団体向けに展示についての解説を行っていく。
チャレンジクイズ	常設展や特設展・企画展を観覧しながら問いに答えていく。 問いでは平易な言葉や読み方に配慮し、見どころを示唆することによって、児童・生徒が展示を観覧する際の手がかりを提示する。大人の参加者も多い。
就業体験(インターンシップ)	中・高校生、大学生の希望者を受け入れ、若年層の職業意識形成支援に取り組む。子どもたちの社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てるためのカリキュラムとし、来館者対応や資料整理など、実際の業務を体験する。
ZINEフェスティバル	小さな本(ZINE)作り教室で制作した作品をはじめ、全国から集めたZINEを、閲覧、配布し、作り手と読者が交流する場を設ける。県内の高校生、大学生も作り手として参加している。
博学連携事業	アウトリーチ… 宮沢賢治や飯田蛇笏など全6セットの教材の貸し出しを行う。 教育センター共催研修… 教育センターの教員研修として実施する。 文学館の教育利用の説明や展示の解説を行う。 教師のための学習会… 年2回実施予定。学芸員が展示に関する説明をし授業に生かしてもらう。

令和6年度 閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	もっと知りたい中村星湖	令和6年4月26日（金）～6月23日（日）	特設展「中村星湖展」関連
2	たべもの百景	令和6年7月12日（金）～8月25日（日）	特設展「文学はおいしい」関連
3	俳句への誘い	令和6年9月13日（金）～11月24日（日）	企画展「金子兜太展」関連
4	児童文学の翻訳者たち	令和7年1月2日（木）～3月23日（日）	

◆ 山梨ゆかりの文学者資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	高浜虚子 生誕150年	令和6年6月5日（水）～7月10日（水）	
2	時代小説を読む	令和6年8月28日（水）～9月11日（水）	
3	誕生日にちなんだ資料紹介 山崎方代 生誕110年（11月1日 生まれ）	令和6年11月27日（水）～12月25日（水）	
4	野尻抱影 生誕140年	令和7年3月26日（水）～4月23日（水）	

◆ その他の資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	七夕と星の展示	令和6年6月26日（水）～7月10日（水）	
2	一葉忌	令和6年11月17日（日）～12月1日（日）	
3	クリスマスの展示	令和6年12月4日（水）～12月25日（水）	
4	企画展「金子兜太展」講演会講師・座談会出演者 著作紹介	令和6年9月16日（月・祝日）、9月29日（日）、10月26日（土）	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介している。参加人数は次のとおり。

- 第1回 5月 5日（日・祝） 3名
- 第2回 7月14日（日） 10名
- 第3回 8月11日（日・祝） 8名
- 第4回 11月20日（水・県民の日） 8名

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

単位:件 (R7.1.31現在)

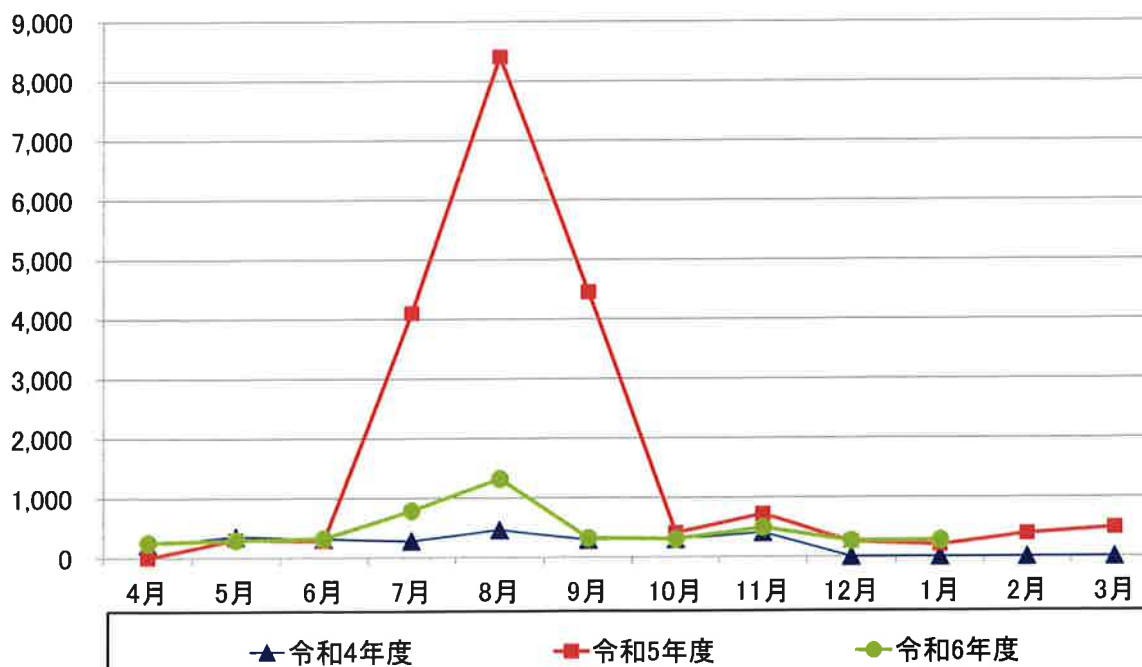
	開館 日数	入室者	閲覧 カード 発行数	閲覧者数	閲覧 冊数	調査 相談	電子式 複写 枚数	マイクロ 複写 枚数	画像 検索 回数	資料 紹介 冊数
令和4年度	212	2,626	38	199	760	519	1,445	10	460	625
令和5年度	281	19,992	54	255	961	782	2,038	159	815	731
令和6年度	254	4,625	51	210	451	422	1,508	14	616	529

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (R7.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 入室者数
令和4年度	220	356	314	278	460	292	298	408	0	0	0	0	2,626	12
令和5年度	0	302	277	4,101	8,404	4,453	407	721	255	198	389	485	19,992	71
令和6年度	253	295	319	784	1,316	320	302	492	266	278			4,625	18

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (R7.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
令和4年度	71	61	47	52	59	45	46	84	14	22	18	11	530	3
令和5年度	29	73	66	69	103	74	59	114	47	56	41	51	782	3
令和6年度	38	54	45	46	52	39	37	37	44	30			422	2

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (R7.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
令和4年度	312	105	206	144	90	173	251	130	39	5	0	786	2,241	11
令和5年度	3	153	378	38	221	161	316	333	213	193	107	81	2,197	8
令和6年度	13	357	162	81	160	263	124	11	161	176			1,508	6

令和 7 年度 資料情報課事業計画（案）

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

あわせて、閲覧室の機能の周知と利用促進及び資料収集の推進を図る。

展示名及び概要	展示期間
辻邦生を読む 特設展「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕 100 年」の内容にあわせた、図書、雑誌、関連資料の展示を通じて、さまざまな角度から辻邦生を紹介する。	令和 7 年 4 月 25 日（金）～ 6 月 22 日（日）
装幀を楽しむ 特設展「作家の絵ごころ」にあわせて、著者が装幀にこだわった図書や意匠を凝らした装幀の図書、魅力的な挿絵を掲載した雑誌などを紹介する。	令和 7 年 7 月 11 日（金）～ 8 月 24 日（日）
どうぶつとぶんがく 企画展 「ベストセラー誕生！ 『南総里見八犬伝』の世界」にあわせて、動物が登場する小説や、作家が動物との関わりを書いた随筆、エッセイなどを紹介する。	令和 7 年 9 月 12 日（金）～ 11 月 24 日（月・振休）
没後 60 年 檀一雄の世界（仮） 令和 8 年に没後 60 年を迎える山梨県都留市出身の作家・檀一雄の著書や、関連の図書、雑誌等を紹介する。	令和 8 年 1 月 2 日（金）～ 3 月 22 日（日）

◇昭和 100 年記念資料紹介

令和 7 年が昭和 100 年の節目に当たるのに合わせ、テーマに沿った昭和の文学作品を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
戦後80年 戦争と文学	令和7年 8月27日（水）～ 9月10日（水）
芥川賞・直木賞でふり返る昭和の文学	令和7年11月27日（木）～12月25日（木）
雑誌に見る昭和の文学	令和8年 3月25日（水）～ 4月22日（水）

◇ 季節のミニ展示

「七夕と星の展示」

令和 7 年 6 月 25 日（水）～7 月 9 日（水）

※その他、講座、講演会開催時に講師の著作や関連資料を展示する。

◇ 閲覧室トーク

職員が閲覧室の利用方法やサービスなどを紹介し、文学館及び閲覧室の周知を図る。

内容：閲覧室の紹介、画像情報システム・文献検索システム端末の操作説明、書庫の案内、特色ある資料（図書・雑誌）の紹介など

定員：10名程度 時間：30分程度（午後開催予定）

第 1 回 令和7年 5月 4日（日・祝）みどりの日

第 2 回 令和7年 7月13日（日）

第 3 回 令和7年 8月10日（日）

第 4 回 令和7年11月20日（木）県民の日

令和6年度 下半期 山梨県立文学館 協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園
指定管理者 芸術の森みらいデザイン

令和7年2月27日(木)

◆目次

1. 広報活動 & 集客のための事業
2. 安心な施設の維持管理 スタッフ研修での避難訓練
3. 令和6年度の指定管理事業

1. 広報活動 & 集客のための事業

● 企画展 金子兜太展 広報（会期：9月14日～11月24日）

展覧会の観覧者数は、62日間の会期で3,810人(目標比59%)。新聞や俳句雑誌等に展覧会情報を掲載。金子兜太や俳句に興味関心のある層へ情報を届けることができ、金子兜太ゆかりの地である埼玉県等、県外からの来館者も獲得することができた。俳句団体の方が、グループで吟行に来られるケースも見られ、貸出施設の利用にもつながった。

観覧者目標には届かなかった。今後、目標人数の達成に向けては、文学や美術に興味関心のある、コアファン以外の層を獲得していく必要がある。来館のきっかけづくりとして、最も情報を届けやすい媒体であるチラシ・ポスターのデザインを工夫したり、イベント開催時には展覧会の観覧につながるような仕掛けを検討し、集客に繋げていきたい。



1. 広報活動 & 集客のための事業

● 県立図書館「図書館まつり」に参加（11月9日）

県立図書館の指定管理者「きらっとやまなし共同事業体（代表団体：㈱SPSやまなし）」と協働で、11月9日に県立図書館で開催の図書館まつりに、アウトリーチの一環として『出張！県立文学館』のワークショップで参加した。図書館での開催ということを考慮しながら、文学館のアピールにつなげるため、初めての試みとしてA6サイズのオリジナルノートづくりを行った。表紙は、文学館所蔵資料から選んだものをデザインし、オリジナルの塗り絵も含め、4種類の表紙と3種類のノートの中身を用意し、それらを組み合わせて「私だけのノート」を制作していただいた。表紙デザインに人気の差が出ることを想定していたが、予想に反して4種類のいずれも好評で、選ぶのに迷われる方も多かった。図書館まつりの賑わいの創出の一助になったとともに、今後のアウトリーチ活動の参考にもなった機会であった。

【参加人数】：69人



1. 広報活動 & 集客のための事業

●ミュゼ・マルシェ (11月16日・17日)

「山梨の文化の発信地である山梨県立美術館 & 文学館で、山梨のクリエイター文化を発信するイベントを」をコンセプトに、今年もミュゼ・マルシェを開催した。県内の飲食店や雑貨店、体験型ワークショップに加え、新たに地場産業品を紹介するエリアを設けるなど、約100店舗に出店いただき、芸術の森公園が華やいだ雰囲気にも包まれた。両館のビロティーでは、ぬりえオーナメントを作成する指定管理者主催のワークショップを実施し、館内の大型ツリーに飾ってもらうことで入館のきっかけとした。2日間で、昨年より2,000人以上多い、10,000人を超える来場者で賑わった。

駐車場や近隣の道路の混雑対策として、出店者用に新田小学校等の近隣駐車場を確保したほか、来場者用に臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行した。美術館の各駐車場や、美術館通りにも誘導員を設置し、渋滞を発生させることなく、大きな混乱もなく開催することができた。

【参加人数】11/16 : 4,650人 11/17 : 5,880人 合計 10,530人

【オーナメントワークショップ参加人数】137名(オーナメント274枚)

当日の様子



ワークショップ



シャトルバス



1. 広報活動 & 集客のための事業

●県民の日イベントの開催 (11月20日)

毎年多くの来場者でにぎわう「県民の日」。今年は公園内を人力車で案内し、来園者に楽しんでいただいた。文学館ではバルーンアートプレゼントや、甲斐市のキャラクター・やはたいぬのパフォーマンス等を実施し、雨天にもかかわらず、多くのお子様や家族連れ、学生で賑わった。

美術館・文学館の展示室への誘導を図るクイズラリーも実施した。結果、両館とも1,000人を超える観覧者があり、秋の1日を楽しんでいただいた。

○クイズラリー

【台紙配布数】1,163枚

【ポストカードの引き換え】美 : 362枚 文 : 406枚 合計 : 768枚

○人力車 午前/21名 午後/21名

○バルーンアート ① 10:00~11:00/108名 : 59個、② 13:00~14:00/78名 : 145個

○やはたいぬパフォーマンス ① 11:30~12:00 / 37名、② 13:00~13:30 / 43名

○文学館の魅力発見ツアー ① 11:00~/8名、② 13:00~/5名

○世田谷文学館 移動文学館展示「SF入門 星新一」/158名

○園児制作 壁紙アート展示/158名



1. 広報活動 & 集客のための事業

● 文学館プレゼンツ スゴろくハッピークリスマス 絵本の朗読×生演奏&ハッピークリスマスマーケット (12月22日)

文学館の講堂で楽器の演奏が解禁となったことをアピールするため、自主事業としては初めてとなる絵本の朗読会とコンサートを行った。テレビ山梨の情報番組「スゴろく」とコラボし、人気番組の出演者が総出演とあってチケットは完売した。絵本の朗読に合わせた生演奏に加え、クリスマスコンサートや抽選会では出演者と間近で触れ合う機会もあり満足度の高い内容となった。

1階ロビーのくつろぎスペース(旧カフェスペース)ではクリスマスマーケットも同時開催。朗読会 & コンサートとクリスマスマーケットとの相乗効果もあり、5店舗中4店舗が完売となった。

【参加人数】 チケット販売数：502枚 当日参加者：448名(内、子ども126名)

スゴろくハッピークリスマス



ハッピークリスマスマーケット



2. 安全・安心な施設の維持管理

● ミュージアムアテンダント研修 (12月2日)

休館日を利用し、看視・総合案内スタッフの研修を実施。今回は、避難訓練と看視ロールプレイングを、ミレー館で実践的に行った。

避難訓練は、緊急地震速報から集合場所へのお客様誘導までを一連の流れで確認。お客様役にけが人や聴覚障がい者も設定し、本番さながらに訓練した。今回は過去の訓練よりお客様役を増員し、少人数のスタッフで素早く安全に誘導することにも焦点をあてた。

看視ロールプレイングは、スタッフ役、お客様役だけではなく、客観的視点で観察する役割も設定。振り返りシートをもとに、声かけのタイミングや見守り時の表情をチェックし、気づきを率直に意見交換した。

避難訓練の様子



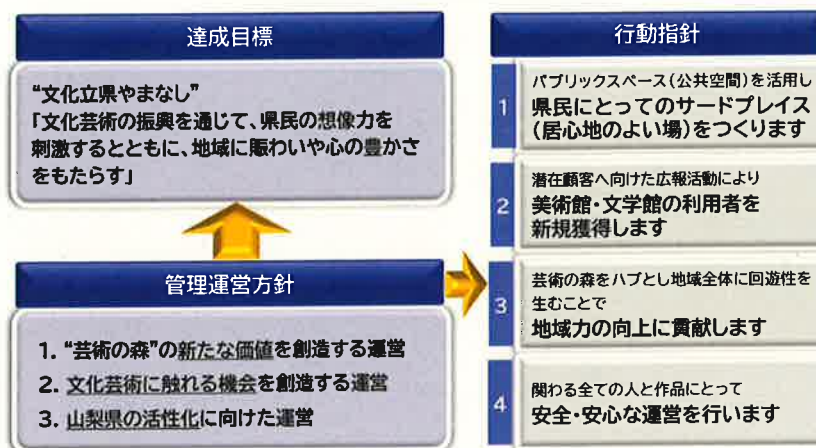
ロールプレイングの振り返り項目(一部)

作品が危険な場面はなかったか？
展示室内すべてのお客様が危険な場面はなかったか？
表情は笑顔で柔らかい雰囲気を感じられたか？
声かけのタイミングは適切であったか？
看視（見守り）は適切でジロジロ見たり、威圧的に見えなかったか？

3. 令和6年度の指定管理事業

令和6年度より、指定管理業務からレストランが分離し、
(株)SPSやまなしと、甲府ビルサービス(株)の2社による新たな共同事業体
「芸術の森みらいデザイン」として、運営を開始しました。

＜今期の管理運営方針＞



3. 令和6年度の指定管理事業

主な取り組み

- ◆ 公園やカフェスペースなどのパブリックスペースを活用したイベント
- ◆ ミュゼ・マルシェや落語ぶながく亭など、実績あるイベントの継続実施
- ◆ 芸術の森公園の広報による新たな利用者の獲得
- ◆ 「ミレーの美術館」を前面に打ち出した広報活動
- ◆ 旅行業者への観光ツアープランの提案
- ◆ 貸館使用料へのキャッシュレス決済の拡大による利便性向上 など

令和7年度 指定管理事業計画

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園
指定管理者 芸術の森みらいデザイン

令和7年2月21日(金)

令和7年度の指定管理事業

今年度は、施設の新たな魅力発信を通し、文化・芸術に触れる機会を創出することで、県内外からの新たな来館者の獲得を目指します。利便性を向上させ、満足度の高い施設を作ることで、美術館・文学館のファンづくりに取り組みます。

主な取り組み

- (1) パブリックスペースのさらなる魅力発信
・芸術の森公園の魅力発信 ・文学館飲食提供スペースの活用
- (2) 潜在顧客の獲得に向けた広報
・県内の観光施設と連携したツアープランを提案 ・貸館の利用促進
- (3) 県内市町村や地域との連携強化
・市町村の公共施設等でのワークショップ開催
- (4) アンケートやデジタルを活用した利便性やサービスの向上
・団体予約の受付フォームの導入 ・山梨の観光文化に関する研修

令和7年度 指定管理事業計画

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園
指定管理者 芸術の森みらいデザイン

令和7年2月27日(木)

令和7年度の指定管理事業

今年度は、施設の新たな魅力発信を通し、文化・芸術に触れる機会を創出することで、県内外からの新たな来館者の獲得を目指します。利便性を向上させ、満足度の高い施設を作ること、美術館・文学館のファンづくりに取り組みます。

主な取り組み

- (1) パブリックスペースのさらなる魅力発信
・芸術の森公園の魅力発信 ・文学館飲食提供スペースの活用
- (2) 潜在顧客の獲得に向けた広報
・県内の観光施設と連携したツアープランを提案 ・貸館の利用促進
- (3) 県内市町村や地域との連携強化
・市町村の公共施設等でのワークショップ開催
- (4) アンケートやデジタルを活用した利便性やサービスの向上
・団体予約の受付フォームの導入 ・山梨の観光文化に関する研修